



酢豚にパイナップル

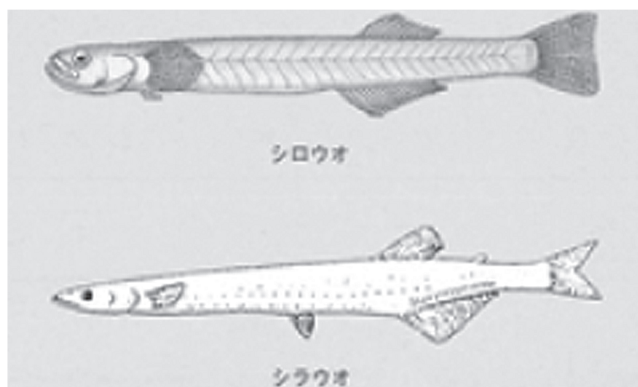


中国料理店・外食産業など飲食店に役立つ情報をピックアップしました

★こんにちは、カンダの神田智昭です★

ご存知ですか？

こだわりの“新潟食材”あれこれ



透明な使者 春の名物 しろうお

よく、「しろうお」を「シラウオ」と混同する方がいますが、前者は「素魚」と書いてハゼ科の魚。頭が丸くて吸盤のヒレが付いている。身が透けている。後者は「白魚」と書いてシロウオ科の仲間。頭の先が尖っているし、身が白いのが特徴です。

しろうおと言えば・・・踊り喰い。食べ方は、水を張った鉢や皿に生きたまま出されたシロウオを網杓子ですくい、酢醤油の入った小鉢に移し、それを吸い物を吸うように、シロウオごと胃の中に流し込むのだ。似た食べ方として、活きたシロウオをのせて寿司とする場合もある。

幻の牛 佐渡牛

暖流に乗って海から吹いてくる気持ちの良い風を受けて、穏やかな丘陵地帯の中、伸び伸びと成長します。佐渡牛は脂身の融点が低く、ジューシーな肉汁とお肉の柔らかさが特徴です。

佐渡牛の歴史は古く、起源は江戸時代にさかのぼります。鉱山での金鉱運搬、田畑での農耕等の運用目的から、佐渡牛は人々の暮らしのいつも身近で飼育されてきました。春の農繁期を終えてから10月頃まで、牛たちは山へと放牧されます。柵の囲いの制限を受けず自由に行きたい場所へ、牛自身の思いのまま悠々自適に移動します。こうして佐渡の雄大な大自然の中で佐渡牛は育ちます。

佐渡牛の飼育数は少なく、1カ月当たりの出荷頭数はわずか2、3頭。その希少性と神秘性が、「幻の牛」と呼ばれる由縁です



海の納豆 ながも

一般的には「アカモク」と言われている海藻で、1月末～2月中のわずかな期間しか収穫されません。3月より本格的に市場へ。

佐渡では昔から「ながも」と呼ばれ、人々に親しまれてきました。

ながもは、フコイダンやアルギン酸を多く含み、海藻の中でも特にネバネバ感が強い海藻です。

その、とろみと歯ごたえは一度食べるとやみつきになります！



株式
会社

カンダ

新潟県燕市杉柳 912 (流通センター入口)

Tel : 0256-63-4541 (代表) Fax : 0256-64-2960

E-mail : info@kankuma.co.jp <http://www.kankuma.co.jp/>

何事にも一生懸命!!

カンダは中国料理店・外食産業を
応援させていただき40年！

話題のお店 話題のメニュー

浅草ビアホール！『D's diner ～ディーズダイナー～』



店舗データ

ジャンル：ビアホール
住所：東京都台東区浅草1-15-6
電話：03-5806-5566
営業時間：12:00～24:00
定休日：月曜日

巷では300円未満の均一低価格の居酒屋さんが激戦中ですが、むしろ私がずっと気になっているのは、大衆的なスタイルの「パブ」「バル」「ビストロ」あたりの業態です。

リーズナブルなワインが気軽に飲めたり、多種多様な美味しいビールを美味しい料理とともに気楽にいただけたりする、そんなお店が良いなあと思うのですが、私達田舎の地元ではなかなか見かけません。せめてビールだけでも多様に楽しみたい・・・今回は、そんな環境で暮らしている私が、出張先での行動範囲内にあって、多様な美味しいビールが飲めるお店「D's diner ～ディーズダイナー～」をご紹介します。

ここは全国で約20店しか取り扱っていない希少な『サントリーアルト生ビール』に始まり、サッポロ無濾過プレミアム樽生ビール『白穂乃香』、0℃以下で味わう『ハイネケン エキストラコールド』、キリンこだわりの『ブラウマイスター』、ご存知『ヒューガルデン』などなど、タワーで注ぐ生ビールはもちろんのこと、各国の瓶ビールもいろいろセレクトできる嬉しいお店です。



調理器具のマメ知識

名入れ方法のあれこれ・・・その②

今回は「包丁」への名入れ方法についてご案内いたします。昨今の包丁は素材も豊富になっており、素材に応じて名入れ方法を変えなくてはなりません。

ステンレス系には「ダイヤモンド彫刻」「レーザー彫刻」。ハガネや合わせ等には「作切」「刻印」、何にでもできるものとして「シルク印刷」「電蝕」があります。

また、それぞれ価格や耐久性も違い、あわせて、名入れのできる場所も限られます。ご贈答、記念品等にもメッセージをいれることも可能です。



ダイヤモンド彫刻の名入れ

- ①レーザー彫刻
不可視レーザーによる名入れ。コンピューターフォントや白黒画像、ロゴマークなど多様なマーク入れが可能です。
- ②作切
職人が一丁一丁、鑿を用い、手作業で彫り上げます。半永久的に名入れが残り、記念品に最適です。
- ③刻印
金型を作り、プレス機にて刀身に打ち込みます。半永久的にはっきりとした名入れが残ります。
- ④ダイヤモンド彫刻
ダイヤモンドを取り付けた専用の切削彫刻機により刀身や口金部分などに彫り込む方法です。半永久的に名入れが残ります。
- ⑤シルク印刷
刀身に直接印刷する方法です。お好みのカラー・デザインで印刷可能で、マークが落ちにくく、色の組み合わせも可能。
- ⑥電蝕
電気と薬品の効果で表面を腐食する方法です。包丁の名入れでは一般的で、版を作成する必要がありますが、数量がまとまった場合は格安になり、納期も早く仕上げる事が可能です。

社長のコラム



私の学生時代の渾名は、「神ブー」でした。コロコロとして、色白でカワイかったからでしょう・・・。大学時代「ZOO」という野球チームを作っていて、各自、袖のところに動物名でネームを入れるのですが、私は「BUTA」と入れるくらいでしたから。

中国では、太ることは生活が豊かなことであり、豚は、富の象徴とされています。福耳のルーツも豚のように大きく垂れ下がった耳を持つ人となっています。他にも、豚は、一度に十数匹の子供を産むことから、子宝の象徴ともされています。

こうして見て行くと豚は、人間がほしいもの、必要としているものをもたらしてくれる存在として古くから親しまれてきたことがわかります。

貯金箱にはやたらと『豚』の形をしたものが多いですが、これも飼育されている豚は、人間が食べ残した食品を餌に育ち、最終的に豊かな食材を人間に提供してくれる。その育つ有様が、普段の消費の中で余った小銭を貯め、満杯になると大きな金額になるという貯金箱の使い道にぴったりなので、豚の形が貯金箱に使われるようになったのです。しかしよく調べるとヨーロッパ、イギリスが豚の貯金箱の発祥の地でした。それは、お皿や食器は、Pygg (ピッグ) と呼ばれるオレンジ色の粘土で出来ていたのです。何はともあれ『豚』は、世界でカワイイの象徴であり、いいことばかりです。そんな豚の渾名を頂いていた私、学生のころを思い出し、がんばります。



株式会社 カンダ

新潟県燕市杉柳 912 (流通センター入口)
Tel : 0256-63-4541 (代表) Fax : 0256-64-2960
E-mail : info@kankuma.co.jp <http://www.kankuma.co.jp/>

何事にも一生懸命!!
カンダは中国料理店・外食産業を
応援させていただき40年!